



今尾の子



令和4年度 えのき通信
海津市立今尾小学校だより
令和4年5月1日

いつでもどこでも

進んでやりぬく

令和四年度は、百六十七名の児童と二十五名の職員でスタートし、一ヶ月ほどがたちました。学校生活での輝く子供の姿の一部ですが紹介します。

○六年生は、入学式前々日（四月五日）に式場づくりや校内の掃除を、丁寧に、一年生のことを想いながらしてくれました。すべての椅子を一脚一脚きれいにしたり、廊下など膝をついて雑巾がけをしてくれたりしました。

○多くの子が「おはようございます」「こんにちは」と会釈をして爽やかな挨拶をしています。

○仲間や先生の話や、姿勢よく、静かに、食い入るように、聞き入っています。

○名前を呼ばれて「ハイ」の返事をして、学級全員が見える位置に移動して話をしています。

○靴箱には、踵をそろえて靴が並べられていたり、傘立てには、傘を縛り、まつすぐ立てかけられたりしています。

○トイレのスリッパは、目印の線にそってきれいに並んでいることが多いです。

○五年生は、全校の給食の後片付けの当番活動を手際よく、役割を分担して短時間で見事にやりきっています。

○命を守る訓練（四月十一日）では、みんな

な真剣に、「おはしも」を意識し、全員が避難することができました。消防署の方にお褒めの言葉をいただきました。

○交通安全教室（四月十三日）では、どの登校班も、挨拶や横断歩道の渡り方を丁寧にやっています。

○一年生を迎える会（四月二十一日）では、六年生が一年生をエスコートして各教室に案内し、一年生は緊張の中でも堂々と自己紹介をしていました。二年生から六年生は一年生のために心を込めてそれぞれ役割を果たしてくれました。また、スマイル班でゲームを楽しく行い、温かい気持ちで各教室にあふれていました。何よりもみんなが楽しんで活動していたことが印象的です。

紹介したことは、今尾小学校の教育目標である「進んでやりぬく」の姿であり、ほとんどの子供が、地道に、当たり前のこととして取り組んでいる成果、頑張ろうという心が姿となって表れています。よい習慣になっています。（習慣とは、言われなくても、考えなくてもできること）

これらは、学校だけでなく、毎日の家庭での教育、地域での教育があつてこそできることです。これからも、家庭や地域でも、何気ないこと、できて当たり前と思うことこそ、褒めてください。その行為の背景には、その子なりの素晴らしい心、小さな勇気があります。



また、私ども、今尾小学校の職員は、心をつとめて、素晴らしい姿を当たり前のようにできるように、よい習慣になるように、さらには、子供にとつて、あこがれの存在でいられるように努めます。

本年度の今尾小学校の保護者、家族、地域の皆様には、今後ともご支援・ご協力をよろしくお願いします。

学校が始まって一ヶ月

新年度が始まり、えのきの葉の緑が増え、この間に、家族ぐるみでの基本的な感染症対策を行っていたいただき、感謝申し上げます。また、家族で体調が悪い方がいた時には、登校を自粛していただいた方もあったり、学校で体調不良を訴えた時には、できるだけ早く迎えに来ていただいたりと、様々な面でご協力いただき、また、四月二十七日には、授業参観・学級懇談会を計画したところ、多くの保護者の方がご都合をつけていただき、参観等をしていただけ、お礼を申し上げます。

今後も、「新しい学校生活様式」を実施しなければならぬことが予想されます。しかし、子供の学びの育ちや安心・安全を守るための方法等には不易な面があります。今後ともご理解・ご協力をお願いいたします。